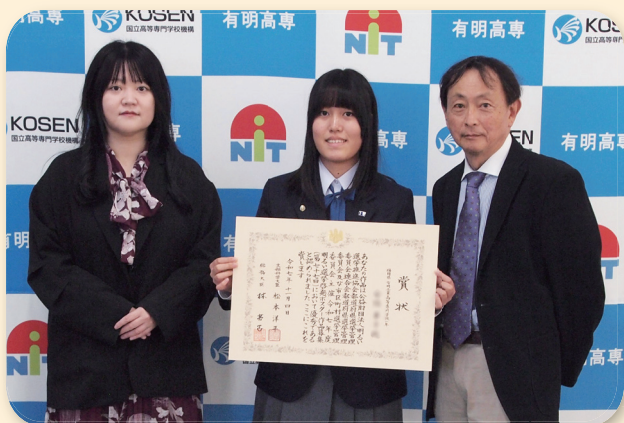


有明高専だより 第169号

2026. 3



学生の活躍 (ポスターコンクール最優秀賞)



ありタムフェスタ (パフォーマンス)



ありタムフェスタ (ステージライブ)



クリスマスフェスタ



コンテスト (ロボコン)



スウェーデン研修

- 校長挨拶 1
- 学生の活躍・活動 2~3
- 産学連携 4
- 学生会だより
(ありタム、クリスマス、クラスマッチ) 5~6
- 進路一覧 7

目次

- 定期演奏会 8
- コンテスト (ロボコン・プロコン・デザコン) 8~9
- グローバル教育 10~11
- インターンシップ 12~13
- 部活動紹介 (ラグビー部・サッカー部) 14

校長だより 校長挨拶

「イノベーション創出をめざした 有明高専での4年間」

有明工業高等専門学校 校長 八木 雅夫



令和4年4月に有明高専へ着任してから、早いもので4年が経過いたしました。3月末の退職を前に、これまで支えてくださった皆様への深い感謝を込め、歩みを振り返りたいと思います。この4年間、本校は「イノベーション創出」を目標に、ハード・ソフトの両面でダイナミックな変化を遂げました。

【施設・環境の整備】

学生生活の基盤である岱明寮は、桜棟の国際寮化を皮切りに、银杏棟、食堂・浴室棟、そして紅葉棟、そして改築進行中の若葉棟を含めると全棟のリニューアルが進むこととなりました。また、寮食堂多目的ホールには「あらたば」の命名もなされ、学生食堂の「イノベーション commons」への改修、トイレの洋式化、生理用品の設置など、学生が快適かつ創造的に過ごせるキャンパス環境の質は着実に向上しています。

【教育組織・プロジェクトの改革加速】

教育面では、教学 I R 室やグローバル・エデュケーション・センター、サーキットデザイン教育センターなどを次々と設置し、時代の要請に応える体制を整えました。特に2年生での学校行事としているシンガポール海外研修実施や、九州大学との連携教育、起業家工房室の開

所などは、本校の教育力を象徴する実績となりました。これらを支えるべく、ネーミングライツ事業の導入や、特色あるプロジェクトを支援する二つの基金（サーキットデザイン・グローバル人材育成）も創設いたしました。

【地域と共に歩む拠点として】

着任当初にいただいた「有明高専はみんな仲よくやってきました」という言葉を、私は「地域・教職員・学生が一体となった強固な信頼関係」と捉え、大切にしてきました。本校が地域の人材育成の拠点（コア）であることを示すべく、課外活動や研究成果を積極的に発信し、地域社会との絆を深めることに注力してきました。

滞在期間は限られていますが、全学生が海外経験を積む仕組みも定着し、次世代へのバトンは確実に渡せたと受けとっています。

最後になりますが、教育、研究、地域連携、グローバル教育という「四つの柱」を軸に、今後も有明高専から絶えずイノベーションが創出され、さらなる発展を遂げることを心より願っております。

学生の活躍・活動

選挙啓発ポスターコンクールにて最優秀賞を受賞

一般教育科

「令和7年度（第77回）明るい選挙啓発ポスターコンクール」において、1年5組の阿陪華子さんが、最優秀賞である「文部科学大臣・総務大臣賞」を受賞しました。本コンクールへの応募総数5,442作品のうち、最優秀賞を受賞したのはわずか6作品であり、本校初の快挙となりました。

受賞作品には、自転車に乗る制服姿の若者が淡い色調で描かれています。自転車の車輪には「選挙」の文字がデザインされ、「選挙は国を動かす原動力（車輪）である」というイメージが見事に表現されています。昨年度の優秀作品を研究し、1年間構想を練り続けた成果が、今回の受賞につながりました。

阿陪さんのコメント

「私はまだ選挙に行ける年齢ではありませんが、これまでの学習を通して、選挙に行くことの重要性を強く感じています。若い人を含めた幅広い年齢層の人に、選挙に行ってほしいという願いを込めました。」

阿陪さんは、「これからもさまざまな作品に挑戦していきたい」と、次の目標に向けた高い意欲を持っています。今後のさらなる活躍を期待しています。



最優秀賞を受賞した阿陪さんの作品



阿陪さん（中央）と美術同好会顧問の森先生（右）、高木先生（左）

エネルギーコース4年生の工場見学

エネルギーコース 教員 清水 暁生

令和7年12月15日、4E学生は熊本方面への工場見学を実施しました。今回は、(株)アムコー・テクノロジー・ジャパンおよび本田技研工業(株)熊本製作所を訪問し、半導体産業と輸送機器産業の現場を見学しました。

アムコー・テクノロジー・ジャパンでは、半導体後工程の役割や製造工程について説明を受けました。学生たちは、普段の授業だけでは知ることのできない製造設備や検査工程を見学し、半導体製品を支える技術と品質管理の重要性を学びました。

本田技研工業熊本製作所では、二輪車の生産工程を見学しました。部品加工、組立、検査までの一連の流れを通して、効率的な生産体制や安全・品質を重視したものづくりについて理解を深めました。

今回の工場見学は、学生たちが学んだ知識と実際の産業とのつながりを実感する、たいへん有意義な機会となりました。



アムコー・テクノロジー・ジャパンでの集合写真

応用化学コース・環境生命コース 3年生&4年生の工場見学

応用化学/環境生命コース 教員 石川 元人

2026年1月13日、4CL学生はデンカ大牟田工場を訪問する工場見学が実施されました。引率は担任の出口先生と副担任の藤本先生が務められました。デンカ大牟田工場には、これまで複数本校CLコースの卒業生が配属されて活躍をしています。さらに、毎年ではありませんが長い間、インターシップ学生を受け入れていただいております。4CL学生のたちも自身のOBが活躍する現場を今回、訪れたことで化学メーカーに対する理解と認識を進めることができたと考えられます。

2026年2月19日、3CL学生は佐賀方面に工場見学を実施しました。平素とは異なりクラス一同での学外活動ということもあって笑顔が多く、活発な見学となった様子です。

いずれも日帰りの工程という短い時間にはなりましたが、百聞は一見に如かずという諺にある通り、実際の工場に立ち寄って説明を受けることで、平素の研究活動や座学、学生実験に対するモチベーションが向上したことと期待します。



デンカ大牟田工場にて4CL集合写真



味の素九州工場にて3CL集合写真

4年メカニクスコースの工場見学を実施して

メカニクスコース 教員 伊野 拓一郎

2025年9月17日から1泊2日で、(株)タンガロイ九州工場、社会福祉法人太陽の家、大分キャノン(株)の3施設を訪問する工場見学を実施しました。

タンガロイ九州工場では、本校機械工学科OBである横山工場長をはじめ、多くの卒業生が第一線で活躍している姿に触れ、精密加工の最前線を見学しました。太陽の家ではミュージアムの見学に加え、障がい者雇用の現場を拝見して社会におけるものづくりのあり方を学びました。大分キャノンでは、高度に自動化されたカメラ製造ラインや製造装置の内製化への取り組みを見学しました。

最先端の自動化技術等の学内では見ることができない現場に触れ、日頃の座学や実習で得た知識が実際の製品づくりに直結していることを肌で感じました、学生達にとって学習や就職活動へのモチベーションを大きく高める貴重な機会となりました。



大分キャノン大分事業所玄関での集合写真

全国初入賞の快挙 男子バレーボール部が九州制覇・全国3位

情報システムコース 5年 松本 春道

今夏、有明高専男子バレーボール部は高専大会九州大会で優勝し、全国大会では第3位に入賞しました。全国大会での入賞は本校バレー部として初の快挙です。私達は練習メニューの作成や技術面の指導まで、すべて学生同士で話し合いながら主体的に取り組んできました。チームの雰囲気は、バレーボールに真摯に向き合いながらも「楽しむこと」を大切にしています。他校と比べると平均身長は低いですが、コンビ攻撃を多用し、粘り強いレシーブでボールをつなぐことを意識しました。

全国3位は、ベンチメンバーの声援やマネージャー、顧問の先生方、保護者の支えがあったからこそその結果です。しかし全国制覇の壁はまだ高く、九州大会予選で悔しい思いをした年もあります。有明高専バレー部らしくチーム一丸となり、さらなるレベルアップを目指して全国制覇に向けて精進していきます。



全国大会にて（前列右から3番目が筆者）

建築設計コンペにて知事賞及び団体賞を受賞

建築コース

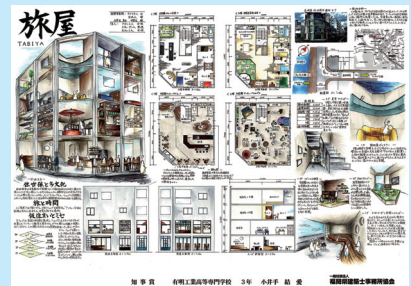
福岡県建築士事務所協会が主催する建築設計コンペ「令和7年度福岡県内高等学校生並びに専門学校生による建築設計競技」において、建築コースの3年生9名が、福岡県知事賞をはじめとする各賞を受賞しました。あわせて、有明高専が団体賞を受賞しました。受賞者は以下のとおりです。

知事賞：小井手結愛
福岡県教育委員会賞：西山柑奈
福岡県建築住宅センター理事長賞：水島悠月
福岡県建築士会会長賞：中島朋也
日本建築家協会九州支部支部長賞：原口玲華
優秀賞：緒方杏
優秀賞：山路にこ
佳作：中野夏女
佳作：廣瀬梨乃
団体賞：有明工業高等専門学校

設計競技のテーマは「空間をシェアする」であり、高等学校生の部では「住まいのシェア」が課題として設定されました。知事賞を受賞した小井手さんの作品では、多国籍の人々が行き交う港町・佐世保を舞台に、多様な人々との交流を通じて地域コミュニティの形成に寄与することを目的として、多国籍なスタッフが共同で営むショップ併設型住居が提案されています。カフェで提供される各国の料理と、アンティークショップに並ぶ多国籍な雑貨によって、訪れた人々がまるで世界を旅するような時間を楽しめる空間が巧みに演出されています。また、空間構成のみならず、タイトルを含めて一枚の作品として完成度高くまとめられており、その表現力と提案力が審査員から高く評価されました。



リモートで表彰式に参加した受賞学生9名



知事賞：小井手結愛さんの作品

産学連携

地域教育支援事業

本年度も連携協力支援事業として、大牟田市、荒尾市の小学校、中学校の児童、生徒達への出前授業を実施しました。

地域教育支援事業（10月～3月）

No.	学校名・主催	講座名	開催日
-----	--------	-----	-----

1.<小中学校対象>（連携協力推進会議事業）

【大牟田市教育委員会】

1	大牟田中央小学校	巨大空気砲を作ろう！	10月31日
2	倉永小学校	液体窒素で遊んでみよう！	11月4日
3	高取小学校	巨大空気砲を作ろう！	12月15日
4	羽山台小学校	巨大空気砲を作ろう！	1月20日

【荒尾市教育委員会】

1	緑ヶ丘小学校	水の科学・女子力UP！！科学実験	10月5日
2	荒尾市教育委員会 生涯学習課	木のボックスづくりファミリーワークショップ	10月19日
3	府本小学校	橋を作ろう！橋を渡ろう！	11月21日

2.<一般市民対象>

1	市民大学講座	花粉は語る ～花粉で読み解く地球の歴史～	11月6日
2	市民大学講座	いろいろな発酵食品について ～目に見えない微生物のちから～	11月20日

3.<その他依頼事業>

1	大牟田市立図書館	(理科読) プログラミングとAI	11月9日
2	致遠館高等学校	Micro:bitによるプログラミング製作 指導・助言	12月11日
3	荒尾総合文化センター	みんなでアラカルキッズ DAY -アートであそぼ！ であそぼ！-	1月12日
4	おおむた生涯学習まちづくり推進協議会	生涯学習ボランティア登録派遣事業「まなばんかん」 企業出前講座「おおむた知恵袋」 表彰式・発表会の体験コーナーへの出展	2月23日
5	おおむた産業フェスタ実行委員会	おおむた産業フェスタ	3月14日

4.<本校主催事業>

1	有明高専	有明高専ハカセ塾	8月23日 9月20日 10月18日 11月15日 12月20日
2	有明高専	きのくにロボットフェスティバル2025全日本小中学生 ロボット選手権九州北部地区予選会	10月25日
3	有明高専	第20回エレクトロニクスものづくり体験教室	12月13日



木のボックスづくりファミリーワークショップ（ニス塗）



水の科学（シャボン膜の観察）

学生会だより

ありタムフェスタ



令和7年11月1日・2日に、「第7回ありタムフェスタ」が開催されました。テーマ「SAI ～最高の再更新～」には、学生一人ひとりの個性や才能を彩り、来場された方々にも「もう一度参加したい」と思っただけのような文化祭にしたいという思いが込められています。

前年度は台風の影響により1日みの開催となりましたが、今年は天候にも恵まれ、両日ともに開催することができました。各クラスやコースの出し物に加え、パフォーマンスやリレーなど多彩なプログラムが行われ、学生はもちろん、来場さ

れたお客様にも楽しんでいただき、大いに盛り上がる2日間となりました。

最後になりますが、ご来賓の皆様ならびにありタムフェスタの運営にご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

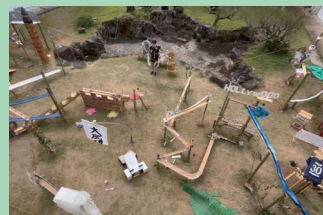
E



C/L



M



I



A



クリスマスフェスタ

12月下旬、毎年恒例のクリスマスフェスタが開催されました。今年も多く多くの学生や教職員の皆さんにご協力をいただき、あたたかな雰囲気の中で素敵なひと時を過ごすことができました。

イベント期間中、学内では校舎の一部が色とりどりのイルミネーションで美しく飾られました。多くの学生が写真を撮る姿や、イルミネーションの中を歩きながら談笑するグループが見られ、学内が一気にクリスマスモードに包まれました。

ミュージックフェスタでは、3組の学生バンドによる生演奏が行われました。観客の手拍子やアンコールの声飛び交い、バンドメンバーと観客が一体となってイベントを楽しみました。



イルミネーション



クリスマスフェスタの様子



クリスマスフェスタの様子2



イルミネーション2

クラスマッチ

12月11日、冬季クラスマッチが行われました。開始直後は晴れていましたが、競技中盤で急な雨に見舞われるという予想外の展開に。しかし、そんな悪天候すら吹き飛ばしてしまうほど、皆さんのプレーは熱意に満ちていました。雨に濡れながらも互いに声を掛け合い、最後まで諦めずに全力を尽くす姿はとて胸を打つものでした。ハプニングをクラス全体で乗り越えたこの経験は、忘れられない冬の思い出になったはずです。学生会一同、この日得た一体感を今後の学校行事にもしっかりと繋げていきたいと思ひます。



進路一覽

エネルギーコース

就職

有明機電工業(株)、(株)NHKテクノロジー、(株)エムジー、関西電力、キャノンマーケティングジャパン(株)、九州電力(株)、九電産業(株)、(株)きんでん、(株)クボタ、KMバイオロジクス(株)、国光施設工業(株)、コニカミノルタジャパン(株)、(株)SANMATSU、JFEプラントエンジニア(株)、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング(株)、ダイキン工業(株)、太陽工業(株)、中部電力(株)、(株)TMEIC、デンカ(株)、電源開発(株)(J-POWER)、東京電子(株)、(株)西日本シティ銀行、西日本電信電話(株)、西日本旅客鉄道(株)、日清紡マイクロデバイス(株)、平田機工(株)、富士電機(株)、メタウォーター(株)、三菱ガス化学(株)、三菱電機(株)電子通信システム製作所、レンゴー(株)

進学

有明高専専攻科、九州大学、熊本大学、佐賀大学、豊橋技術科学大学

応用化学／環境生命コース

就職

artience(株)、旭化成(株)、一般社団法人日本血液製剤機構、花王(株)、KMバイオロジクス(株)、昭栄化学工業(株)、大日精化工業(株)、(株)大中外製薬工業(株)、DIC(株)、(株)戸上電機製作所、丸善石油化学(株)、三井化学(株)大牟田工場、(株)ミズホメディール

進学

有明高専専攻科、熊本大学、長岡技術科学大学、豊橋技術科学大学

メカニクスコース

就職

旭化成(株)、いすゞエンジニアリング(株)、一般財団法人日本品質保証機構、大阪ガスネットワーク(株)、オークマ(株)、オムロンフィールドエンジニアリング(株)、キャノン(株)、キャノンメディカルシステムズ(株)、京セラ(株)鹿児島川内工場、麒麟麦酒(株)、(株)クボタ、サントリーホールディングス(株)、西部電機(株)、タカハ機工(株)、(株)ダイコーテクノ、大陽日酸(株)、(株)中央エンジニアリング、中菱エンジニアリング(株)、(株)デンソー九州、デンソーテクノ(株)、トーテックアメニティ(株)、(株)トヨタシステムズ、(株)トヨタプロダクションエンジニアリング、西日本旅客鉄道(株)、パナソニックエンターテインメント&コミュニケーション(株)、パナソニックコネクスト(株)、久光製薬(株)、(株)牧野フライス製作所、(株)三井三池製作所九州事業所、三菱地所コミュニティ(株)、メタウォーター(株)、森永製菓(株)、安川オートメーション・ドライブ(株)、(株)安川電機、ヤンマー建機(株)、ローム・アポロ(株)

進学

有明高専専攻科、九州工業大学、熊本大学、佐賀大学

情報システムコース

就職

アイ・システム(株)、アマゾンジャパン合同会社、有明高専、(株)有明ねっとこむ、(株)旭製作所、インフォコムテクノロジーズ(株)、(株)オービスシステム、(株)QTnet、Qsol(株)、京セラ(株)(鹿児島)、(株)グローリア・ソリューションズ、KDDIエンジニアリング(株)、(株)佐賀銀行、Japan Advanced Semiconductor Manufacturing(株)、(株)シティアコム、(株)システムソフト、(株)SUBARU、(株)NTTデータ、日清紡マイクロデバイスAT(株)、日本アルゴリズム(株)、日本精工九州(株)、日本通信エンジニアリングサービス(株)、西鉄情報システムズ(株)、西日本高速道路ファシリティーズ(株)、(株)BeeX、福岡市、(株)福岡銀行、TOPPANテクニカル・デザインセンター(株)、トーテックアメニティ(株)、(株)MJC、(株)ユー・エス・イー、(株)ラック、リンク情報システム(株)

進学

有明高専専攻科、九州工業大学、九州大学、熊本大学、佐賀大学、島根大学、東京工芸大学、豊橋技術科学大学

建築コース

就職

鹿島建設(株)、建装工業(株)、清水建設(株)、住友林業ホームエンジニアリング(株)、住友林業ホームテック(株)、(株)大建設計、(株)タケウチ建設、東亜建設工業(株)、東京水道(株)、東レ建設(株)、富安建設、西松建設(株)、日本環境アメニティ(株)、ビーエス・コンストラクション(株)、福岡国際空港(株)、(株)未来工房、前田建設工業(株)、三菱ケミカルエンジニアリング(株)、三菱地所コミュニティ(株)、三菱電機ビルソリューションズ、(株)横河ブリッジ、(株)VIALE

進学

有明高専専攻科、鹿児島大学、京都美術工芸大学、九州大学、熊本大学、埼玉大学、筑波大学、豊橋技術科学大学、武蔵野美術大学

専攻科

就職

旭化成(株)、伊藤忠アーバンコミュニティ、KMアルミニウム(株)、沢井製薬(株)、芝浦機械(株)、(株)ジェイ・クリエイション、(株)ソフト九州、(株)竹中工務店、TOPPANテクニカル・デザインセンター(株)、日鉄ケミカル&マテリアル(株)、福岡県庁、前田建設工業(株)、(株)RKKCS、安川オートメーション・ドライブ(株)、ヤンマー建機(株)

進学

九州大学大学院、熊本大学大学院

定期演奏会

第57回 定期演奏会を終えて

情報システムコース 4年 住 彩乃
吹奏楽部 部長

令和8年1月18日、大牟田文化会館小ホールにて、第57回有明高専吹奏楽部定期演奏会を開催いたしました。同窓会、OB・OG会の皆様をはじめ、多くの方々のご支援とご協力を賜り、盛会のうちに終演することができました。厚く御礼申し上げます。

今回の定期演奏会のテーマは「ADVANCE」でした。一人ひとりが前へ進み、新たな挑戦へ踏み出す姿を音楽に込め、ご来場いただいた皆様へお届けいたしました。部員それぞれが積み重ねてきた努力の成果を発揮し、有明高専吹奏楽部のさらなる前進をお見せする事ができました。

本演奏会をもって卒部となった5年生の皆さん、ありがとうございました。吹奏楽部で培った経験を糧に、それぞれの進路や新たな環境で活躍されることを心よりお祈りいたします。



コンテスト

地元での高専ロボコンを終えて

メカニクスコース 4年 福田 陽加 (ロボット研究部)

高専ロボコン九州・沖縄地区大会が2026年9月28日に地元大牟田で開催されました。今年のテーマは「Great High Gate」。フィールド内に設置されたボックスを運び作り上げたゲートを人を運びながら通過する競技です。Aチームは「登竜門」を製作して通過することを目指しましたが、ゲートを完成させることは叶いませんでした。しかし、一番の見せ場である鯉が龍に変形する瞬間を試合で見せることができ特別賞を頂いています。Bチームは、高いゲートをつくる機能美を追求したロボットです。思い通りの動きはできませんでしたが素早い動きと合理的な機構を持つ素晴らしいロボットです。地元開催という舞台上、目標の全国大会出場を成し遂げられず、無念の一言です。今年こそ、4年ぶりの全国大会出場を目指して頑張りますので応援よろしくお願いします。



大会後にピットでの一枚 (後列左端が筆者)



競技の様子



Aチームは安川電機特別賞を受賞しました

第36回 全国高等専門学校プログラミングコンテストに参加して

情報システムコース 教員 松野 哲也

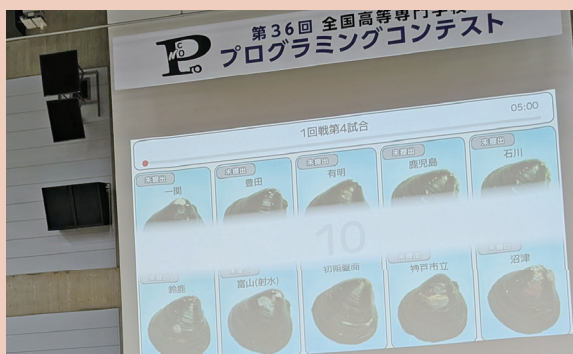
第36回全国高等専門学校プログラミングコンテストは島根県立産業交流会館（くにびきメッセ）にて行われました。今回有明高専から予選を通過して参加したのは競技部門の3名のみでした。各高専は独自に開発した個性的なアルゴリズムで与えられた競技課題をクリアしていきました。その中で有明高専も健闘し準決勝まで勝ち進みました。今後の活躍も期待されます。



集合写真



プログラミングコンテスト



競技の様子



競技の様子2

「全国高等専門学校デザインコンペティション」(デザコン) にて受賞

「全国高等専門学校デザインコンペティション」(デザコン) に建築コースから3チーム出場し、2チームが審査員特別賞を受賞しました。構造デザインチームの2名からのコメントを掲載します。

建築コース 3年 田中 夏凜

私は11月8日、9日に福井県鯖江市で開催された「デザコン全国大会」の構造部門に参加しました。大会の途中には、他高専の作品について直接質問をする技術交流がありました。私たちの作品になかった面白い工夫や技術を知ることができ、とても得難い経験が出来ました。次の大会ではこの経験を活かして、より良い記録を残せるように頑張ります。

建築コース 3年 水島 悠月

私は昨年初めてデザコン全国大会に参加しました。専攻科生が設計された「二位一体」という作品で審査員特別賞を受賞しました。チームで試行錯誤しながら完成させた作品で受賞でき、感激しました。大会と同時に高専生・教員・企業の交流会もあり、とても良い経験となりました。今年もチームで良い結果が残せるよう頑張ります。



構造デザインチーム集合



載荷実験後の構造チーム

グローバル教育

令和7年度後期に実施した主な事業

前号の発行（2025年10月）以降にグローバル・エデュケーション・センター（GEC）が実施した事業の中から派遣・受入を中心に紹介します。

1) 英語プレゼンテーションワークショップ 10月20日、12月4日、8日の3回シリーズで、英語プレゼンテーションワークショップを実施しました。後期に海外派遣を予定している学生や関心のある学生26名が参加し、カナダ人講師のフォスター先生から、英語で作成するプレゼン資料の作り方や、発表の際の英語表現や心構え等についてアドバイスがありました。

2) 「トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム」 自分が行きたい場所で、やりたいことを実現することを支援するというこの制度は、多くの企業の寄付を集めて文部科学省が実施しています。令和7年度は高校生コースに2名、大学生コースに1名が採択され、8～9月及び令和8年2～3月に各々の計画に沿って海外に渡航しています。また、令和8年度での渡航に向けて本校から「高校生コース」に5名の学生が、「大学生コース」に1名の学生が学内でプレゼンテーションを行った上で申請書を作成し、応募しました。書類による審査と面接による審査が行われています。

3) Student Research Symposium2025 高専機構が進めるベトナム支援事業の一環として、有明高専は、ホーチミン市にあるカオタン技術短期大学への支援を行っており、12月10日～12月14日の日程で、12名の学生が参加しました。ロボット研究部の学生が「高専ロボコン九州沖縄地区大会」のために作成したロボットについて、またメカニクスコースの5年生は卒業研究のテーマについて英語で発表を行いました。



英語プレゼンテーションワークの様子



Student Research Symposium2025



トビタテ！留学JAPAN学内プレゼン

4) 留学生送別会 2月16日の放課後に、今春卒業の情報システムコースのジオさん（ケニア出身）の送別会が東亜建設工業 Innovation Café で開催されました。ジオさんは、卒業後は日本での就職を予定しています。

5) 1年生にシンガポール海外研修事前研修 来夏に実施予定の2年生シンガポール海外研修に向けて、現1年生を対象に、1月20日4限目にシンガポール現地と生中継で結ぶオンライン説明会を行いました。さらに、2月17日4限目には、パスポート取得説明会及びシンガポール概要説明会を実施しました。

6) フランスでのインターンシップへ派遣 2月14日から33日間、情報システムコース4年の高田凛太郎さんが、フランスにある協定校トゥールーズIUTの母体であるポールサヴァティエ第三大学で、専門分野に関するインターンシップを実施しました。

7) KOSEN Global Camp 鹿児島へ3名を派遣 2月23日～2月28日に「情報工学分野とプロダクトデザインの融合による、未就学児童を対象としSTEAM教育のためのものづくりワークショップ」と題するグローバルキャンプが鹿児島高専で開催され、マレーシア、スウェーデン、台湾からの学生16名と本校の3名を含む全国の高専生20名が参加しました。

8) スウェーデンから2名の学生受入 2月24日～5月1日の7週間、スウェーデンの工学系高校NTIストックホルム校から、4年生の男子学生2名をインターンシップとして受け入れています。2人の所属は、情報システムコースのゴーチェ研究室です。

9) スウェーデン研修へ10名を派遣 3月14日～3月24日の11日間、3回目となるNTIストックホルム校への海外研修プログラムに3年から専攻科1年の学生10名を派遣しました。引率はGEC副センター長の岩下先生、国際交流推進リーダーの岩本先生の2名でした。相手校での授業参加の他、大学や企業などの訪問、2泊のホームステイなど充実した内容でした。

10) TOEIC対策集中講座 2月18日にモチベーションアップセミナー for TOEICを実施し、18名の学生が自立学習の方法について学びました。また、3月2日～6日の5日間連続で、TOEIC対策集中講座を実施し、24名の学生が受講しました。集中講座の翌日のTOEIC IPテストでの成果が期待されます。



トゥールーズでのインターンシップの様子



スウェーデン研修の様子



留学生送別会

インターンシップ報告

インターンシップに参加して学んだこと

エネルギーコース 4年 秋山 琉美花

インターンシップでは、医療や駅設備、コインパーキング、交通管制、鉄道など幅広い分野の現場を訪問し、設備の仕組みや保守業務について学びました。駅設備では券売機と改札機の内部やホーム柵について見学し、一つの機器を安全に維持するために、多くの部品や装置の知識と高い技術力が必要であることを実感しました。また、鉄道設備の点検では、深夜の限られた時間の中でメンテナンス作業を行っており、事前の綿密な打ち合わせが欠かせないことを学びました。特に印象に残った医療分野では、CTや透析装置の保守体験や病院訪問を通して、どのような状況でも安全に動作することの重要性を学びました。今回の経験を通して、設備の安全と安心を支える仕事の責任の大きさを知り、技術者として必要な知識や姿勢について深く学ぶことができました。この学びを生かし、将来社会を支える技術者として活躍できるよう、より一層学習に励みたいと思いました。



インターンシップ「artience株式会社」

応用化学コース 4年 古賀 みのり

Artience(株)での学外実習では、顔料や樹脂を基盤とした製品の製造・加工技術、化学メーカーとしての品質管理や企業姿勢、高専卒社員に求められる役割について学びました。川越製造所では、接着剤、製缶塗料、塗工材、プラスチック用着色剤の開発・製造技術に関する座学に加え、生産ライン管理、現場見学、ハンド塗工、品質管理・品質保証の体験実習を行いました。実習を通じて、生産現場では自動化が進み、社員は機械管理や検査、改善活動を担っていることがわかりました。また、5S活動やTPM活動、通路の色分け、ユニバーサルデザインの導入などから、安全で働きやすい環境づくりや企業との信頼関係を構築するための取り組みを実感しました。さらに、調色や検査では機械による測定だけでなく、人の経験や観察力も重要であることを学びました。

5日間の実習を通して、化学メーカーの仕事や高専卒生に求められる能力を具体的に理解し、中でも顔料や機能性材料の分野に強い関心を持ち将来の働く姿を考える貴重な機会となりました。



試作品、色付けられている



社屋の様子

インターンシップ「株式会社久原本家グループ」

環境生命コース 4年 古川 実也

(株)久原本家グループでの実習では、同社のビジネスモデルや強み、食のSPA化、食品業界におけるモノづくりの現場について学びました。講義では、商品企画から製造・販売までを一貫して行うSPA企業としての特徴や、BtoB・BtoCを含む複数ブランドの展開、地域性や季節感を生かした商品づくり、パッケージや接客まで含めた統一的な世界観の構築について理解を深めました。また、店舗イベントの企画や、だしの分類を行うグループワークを通じて、顧客目線で考える難しさや、味・香りを言語化して共有する重要性を実感しました。工場見学では、ボトルラインでの就業体験を行い、多品種小ロット生産では単純な機械化だけでなく、人とロボットが柔軟に協働する体制が重要であることを学びました。さらに、従業員同士の挨拶や密な連携からは、風通しの良い企業文化を肌で感じ取ることができました。

実習を通して、食品業界におけるモノづくりの奥深さ、組織としてのあり方についての理解が深まり、進路選択を考える上で有益な経験を得ることができました。



実習実施場所：久原 本家 工場



久原本家独自のビジネスモデル「食のSPA(製造小売業)」

インターンシップに参加して学んだこと

メカニクスコース 4年 築地原 昇太郎

私はインターンシップで、現場見学や重機搬入計画の立案、社員の方々との座談会を通じて、プラント建設の仕事について学ぶことができました。現場見学では、土木・機械・電気など多くの職種が連携しながら作業を進めており、一つの施設が完成するまでに多くの人の力と工夫が必要であることを実感しました。重機搬入計画では、限られたスペースの中で安全に作業を行うための綿密な準備が求められ、現場で働く責任の重さを感じました。座談会では、現場やオフィスで働く方など、さまざまな働き方を知ることができました。特に印象に残ったのは、安全を守るために社員全員が高い意識を持って取り組んでいることです。最近増えている外国人作業員にも正確に情報が伝わるよう、多言語で注意喚起を行うなど、誰もが安心して働ける環境づくりに力を入れている姿勢に感銘を受けました。また、他の学生との交流を通して多様な考え方に触れ、自分自身の就職活動への意欲も高まりました。

今回の経験は、将来働くうえで何を大切にしたいのかを考えるきっかけとなりました。



現場での測量体験（左手前が筆者）

生成AIとアジャイル開発を体験したインターンシップ

情報システムコース 4年 原田 唯月

私は木村情報技術㈱のインターンシップに10日間参加しました。実習では、会社説明や見学に加え、スクラムを用いたアジャイル開発ワークを通して、計画から開発、レビュー、振り返りまでの流れを体験しました。特に振り返りでは、うまくいかなかった点を共有して次に活かし、改善を積み重ねることの重要性を実感しました。また、生成AIやプロンプト、AIアプリ開発ツールであるDifyの講座を受け、AIチャットボットを用いたシステム提案書の作成と発表に取り組みました。提案内容を試行錯誤しながら形にしていく過程は難しかった一方で、学びが多く達成感もありました。さらにハッカソンにも参加させていただき、他校の学生と協力して開発を行う中で、チーム開発の楽しさとコミュニケーションの大切さを学びました。加えて、社員の方々のお話を通して、技術だけでなく働く姿勢や考え方にも触れることができました。10日間を通して協力して価値を生み出す姿勢を学ぶことができ、実りも多く楽しいインターンシップでした。



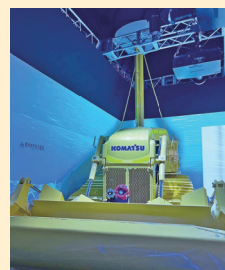
メンターの皆さんと（後列中央右が筆者）

インターンシップ「青木あすなろ建設~高専限定~」

建築コース 4年 庄野 瑛未里

私は大阪・梅田にある青木あすなろ建設の5日間インターンシップに参加しました。本インターンシップは高専生限定で、万博に入場できることをきっかけに参加しました。職業体験というよりも、イベントやワークショップに近い雰囲気があり、終始活気を感じました。1日目は班員や社員の方、他高専の学生との交流やワークショップが行われ、2日目には万博を見学しました。青木あすなろ建設が携わった大屋根リングや水中ブルドーザーを実際に見ることができ、展示パビリオンにも入らせていただきました。3日目には日本経済新聞主催のゼミに参加し、4日目は現場見学、5日目にはインターンシップを通して学んだことを発表しました。

本インターンシップを通して建築への興味が一層深まり、多くの人との交流から多様な視点や考え方に触れることができました。高専生同士で交流できる貴重な機会となり、今後の勉学や生活に活かしていきたいと感じました。



青木あすなろ建設の水中ブルドーザー



インターンシップにおける万博見学

部活動紹介

ラグビー部

有明高専ラグビー部は、コロナ禍で減った部員数が回復し、2年ぶりに九州沖縄地区高専ラグビー大会に15人制でエントリーすることができました。都城市の赤霧スタジアムで開催され、準決勝まで進みましたが惜しくも敗退し、全国進出の夢は次年度に持ち越しとなりました。



サッカー部

7月に行われていた九州沖縄地区高専大会が11月開催に変更となり、今年度のサッカー競技は八代で行われました。2年連続で準決勝に進んだものの、またしても0-1で敗れて、全国大会出場の夢は叶いませんでしたが、キャプテンを中心に良い戦いをしてくれました。一方、高体連チームは新人戦で念願の県大会出場を果たしました。3月のU-19大会で新チームとなり、新戦力の台頭もあるなど、これからの活躍がますます期待されます。



※学年は令和7年度当時のもの
E : エネルギーコース
C/L : 応用化学/環境生命コース
M : メカニクスコース
I : 情報システムコース
A : 建築コース
G : 一般教育科



有明高専だより 第169号
編集：有明高専企画・広報室

〒836-8585 大牟田市東萩尾町150
TEL 0944-53-8861 (学生支援係)
<https://www.ariake-nct.ac.jp/>

